

現場が業務に専念できる

環境を整えること



第三管区海上保安本部総務部人事課第一人事係

— 現在の仕事の内容はどのようなことですか？ —

私が所属している総務部人事課では、主に第三管区に所属している職員の人事・給与に関すること、表彰や懲戒、叙勲に関すること、職員研修に関すること、海上保安大学校や海上保安学校学生採用試験の事務及び学生募集活動などを行っています。

海上保安業務に従事する現場第一線というわけではありませんが、現場の海上保安官が全力で海上保安業務に従事し、より一層国民の皆様の安心・安全に応えられるように、現場の海上保安官の後方支援として、全力で従事していきたいと思っています。



— 海上保安庁に入った動機やきっかけは何でしたか？ —

出身が横浜ということもあり、小さい頃から山下公園などで大小様々な船舶を眺めて育ったためか、いつのころからか自身で船舶を操船してみたいという思いが募り、海での仕事というものに興味を抱きました。その中で海上保安庁という組織があることを知り、国土の1.1倍以上もの広大な海を舞台に、治安の確保や海難救助をはじめた多種多様な業務に従事している海上保安官に強い憧れを抱き、自らもその一員として力を尽くしたいと思い希望しました。

— 海上保安庁に入って、印象に残っていることは何ですか？ —

海上保安学校での1年間が一番印象に残っています。現場では、経験年数が少ないながらも、様々な業務に従事してきましたが、現在もこうして海上保安官として仕事が出来ているのは、海上保安学校での日々があったからだと感じています。担任教官によく言われた「経験こそ財産」という言葉を噛み締めて、多種多様な業務に対し積極的に身を投じ、「スマートで目先が利いて几帳面負けじ魂これぞ船乗り」という言葉を胸に、日々業務に従事してい

ます。そして仕事に悩み、疲れたときには同期が支えてくれます。

これから先も、海上保安学校での1年間が私の根幹であり、支えるものであり続けると感じています。

— これから海上保安庁を希望する人達に一言 —

海上保安庁は本当に重要な業務に従事していると思います。日々の生活を支えている様々なものの多くを国外からの輸入に頼っている現状において、海上輸送の安全確保の重要性は、容易に想像できると思います。また、国外から輸入されるものの中には生活を豊かにするものだけではなく、その反対に生活の害となるものや、安全を脅かす虞のあるものあり、そういったものが国内に入ってくるのを水際で阻止することも、人々の安全な生活を守るために大変重要なものです。そういった業務に従事している海上保安官という職業は、とてもやりがいのある仕事です。ぜひ、一緒に仕事をしましょう！！

— 付録 余暇の楽しみ —

好きなスポーツで汗を流し、その後は、仲間達と楽しい一時を過ごしています。

(職場の仲間達とフットサルチームを作っています。一緒に楽しみましょう！！)

